



ITEM NO. F181C



F+SERIES

2.4GHz

HOLY STONE TOYS HDカメラ 高度維持機能 F181Cドローン

日本語マニュアル



Holy Stoneストア及びドローンの操作、修理方法の動画について、こちらへ



 WWW.HOLYSTONE.COM

はじめに

この度はHoly Stone Toys店でF181Cドローンをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
この製品は200万画素720pHDカメラを外付けし、手軽に高画質で空撮が楽しめるマルチコプターです。

また、フライト性能にも優れ、安定したホバーリングやアクロバティックな動作もこなすことができます。

安全にフライトして頂くために必ず当説明書を最後までお読み頂き、注意事項もお守りください。

目次

はじめに	2
1. 安全上のご注意（必ずお守りください）	3
2. 【重要】LiPoバッテリーについて	4
3. 各部説明	5
4. 送信機の準備とLiPoバッテリーの充電方法	6
5. プロペラガードとスタンドの取り付け方法	6
6. フライトを始める	6
7. 送信機の操作方法	7
8. ワンキー起動/着陸と高度維持	9
9. 3Dフリップ	9
10. ワンキーリターンモードとヘッドレスモードについて	9
11. 緊急停止	10
12. ジャイロリセット方法	10
13. 撮影について	11
14. プロペラ、モーターの交換方法	11
15. パーツリスト	12
16. よくある質問	12
17. 製品サポートについて	13
18. メーカー情報	13

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

保護者の方へ

当製品は小さな部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3歳未満のお子様に触れないようご注意ください。

⚠ 注意

ここに記載されている注意事項は、製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- ★当製品はおもちゃではありません。14歳未満のお子様には使用させないでください。また、お子様の手の届く場所に保管しないでください。
- ★対象年齢未満のお子様がいるところで使用しないでください。
- ★当製品は屋外でのフライトを推奨します。屋外では風の影響が強く正常にフライトできない恐れがあります。
- ★飛行に慣れるまでは室内の広い場所での練習をお奨めします。室内であってもエアコンや換気扇の影響を受けます。風の流れがない状態がフライトしやすくなります。
- ★屋外でのフライトは高圧線・公共施設・空港・道路・線路が近くにある場所、及び周りに人がいる場所、建物がある場所では絶対にフライトさせないでください。
- ★プロペラは高速回転しますので、大変危険です。飛行中は人の顔や手に接触しないように十分注意して安全に飛行させてください。特に目に当たると失明の恐れがあります。
- ★水や火の中に入れたり、分解しないでください。
- ★火の近くや高温多湿の場所で使用したり、充電・保管はしないでください。
- ★フライトの前に必ず各ビスの緩み、パーツ破損・脱落がないかを点検してください。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。フライト後も必ず部品に破損や脱落が無いかを確認してください。
- ★フライト後は速やかに機体からLiPoバッテリーを取り外してください。保管中はお子様に触れないように注意してください。
- ★送信機は単三乾電池をご使用ください。
- ★単三乾電池は古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- ★単三乾電池の+（プラス）、-（マイナス）を正しくセットしてください。
- ★しばらく遊ばないときは送信機の単三乾電池は外して保管してください。
- ★万一、単三乾電池から液が漏れ、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談してください。衣服などに付いたときは水で洗ってください。
- ★当製品はLiPoバッテリーを使用しています。この電池はその特性から、取り扱いを誤ると発火などの危険な事態を引き起こす恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみください。
- ★LiPoバッテリーは付属したUSBケーブルまたは純正充電器（別売り）でのみ充電可能です。それ以外の充電器は絶対に使用しないでください。
- ★当製品は生産工場にて動作確認を行っておりますが、お買い求め後の動画確認の際、動作に不具合が認められる場合はフライトさせないで、弊社カスタマーサポートへご相談ください。
- ★当製品（機体本体・送信機・充電器）を改造しないでください。また、専用パーツ以外をご使用になった場合、正常にフライトできないばかりか思わぬ事故に繋がる恐れがあります。十分ご注意ください。

- ★当製品付属の送受信機は2.4GHz帯を使用しています。ご家庭の無線LANやワイヤレス機器に干渉される恐れがあります。飛行させる際は電波の影響がない場所でお楽しみください。
- ★当製品を高温となる自動車内や直射日光が当たる場所に放置しないでください。
- ★当製品の受信機・送信機は精密機器です。水に濡らしたり湿気が多いところに放置しないでください。
- ★プロペラには向きがあります。交換する際は説明書をご参照になって正しく取り付けてください。正しく取り付けないと正常に飛行できません。
- ★不正操作理由においても返品・返金は承ることができない恐れがあります。また、製品特性からフライトした結果についての保証は一切行うことができません。

【重要】LiPoバッテリーについて

当製品が採用しているLiPoバッテリーは小型で高性能ですが、取り扱いを誤ると、大変危険です。火災や重大な事故を引き起こす恐れがあります。

当説明書をよくお読み頂き、正しい知識を得た上で慎重にお取り扱い頂けますようお願いいたします。

1. 取扱上の重要事項

- ★LiPoバッテリーは比較的新しい規格のバッテリーです。正しい知識を得た上でご使用頂く必要があります。必ずこの注意事項をお守り頂き、正しく安全にご使用ください。
- ★機体で使用する状態でのみ放電してください。それ以外の放電はしないでください。
- ★当製品は模型用充電式リチウムポリマー電池であり、ほかの用途には使用できません。
- ★変形や臭い、変色などの異常がある場合は使用しないでください。
- ★電池を絶対に分解・改造しないでください。
- ★過放電してしまった場合はご使用頂くことができません。放電し過ぎないようにご注意ください。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に傷んでいき、充電・放電時間が極端に短くなり、使用できなくなります。
- ★LiPoバッテリーは消耗品です。交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- ★充電中は目を離さず、異常事態が起きた場合は速やかにUSBケーブルを外して充電を中止してください。
- ★万一充電中に機体が異常に過熱している恐れがあります。絶対に機体に触れず、USBケーブルを外して充電を中止してください。そして、機体を安全な場所で見てください。
- ★リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電が可能です。
- ★充電完了後、バッテリーがUSBケーブルに差したまま放置すると過放電となり、使用できなくなる恐れがあります。速やかにバッテリーをUSBケーブルから抜いてください。

3. フライト中の注意

- ★墜落・衝突などした際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を避けた場所でしばらく放置して、異常のないことを確認してください。

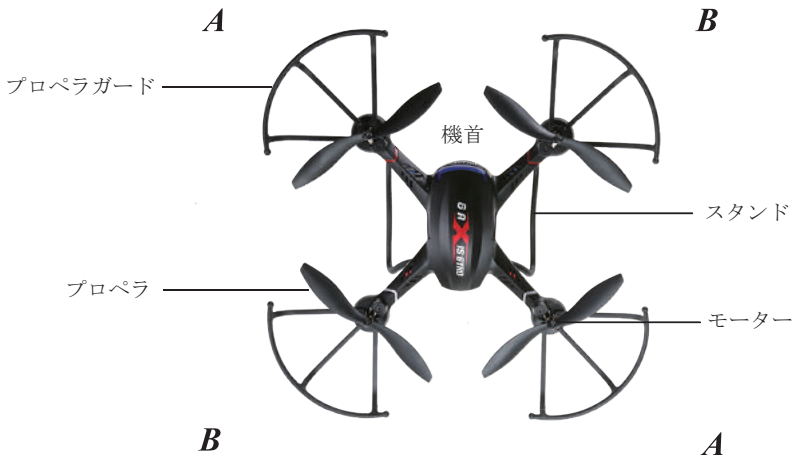
4. 電池を保管・保存する場合の注意

- ★LiPoバッテリーの保管可能温度は-10~45℃前後です。性能の劣化を防ぐには25℃前後が最適です。
- ★自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たる場所に放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止めください。
- ★2週間以上ご使用頂かずに保管する場合は満充電後2分程度フライトさせ、バッテリー容量が50~70%程度になってから保管するようにしてください。

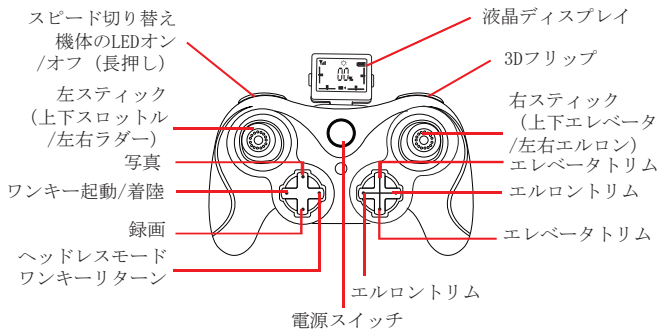
5. バッテリーの運搬・廃棄

- ★バッテリーの運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースを入れて運搬してください。
- ★廃棄する場合にはリポは塩水につけて、一晚塩水につけて中和してから破棄してください。
- ★絶対に火の中に投げ入れないでください。爆発します。
- ★廃棄方法は各自自体に問い合わせるか、リサイクルを行っている販売店様にご確認ください。

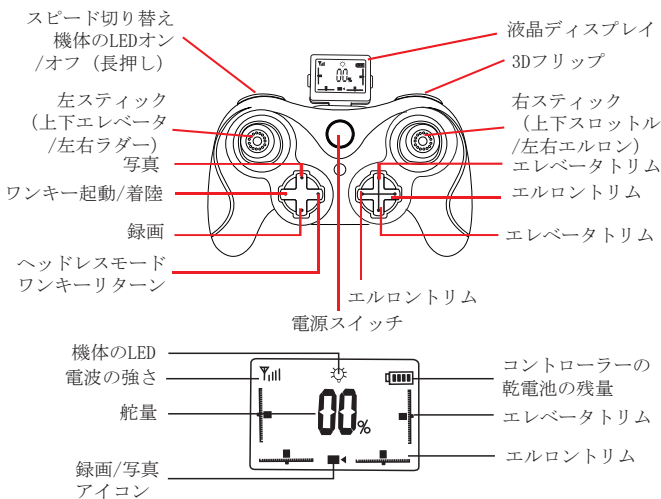
各部説明



モード1 (日本製のモード2) の場合



モード2 (日本製のモード1) の場合



送信機の準備とLiPoバッテリーの充電方法

送信機に乾電池をセットする

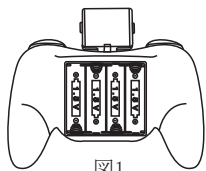
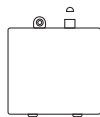


図1



電池カバー



4×1.5V 単3型

送信機は単三乾電池4本（別売り）が必要です。左図に従って正しい向きでセットします。

LiPoバッテリーの充電方法

フライトする前に必ずLiPoバッテリーを充電します。下記の二つの充電方法があります。

1. まず機体からバッテリーを取り出します。次にUSBケーブルとPCなどのUSB端子を繋いでから、LiPoバッテリーをUSBケーブルの端子を接続します（図2）。USBケーブルのLEDが消灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、USBケーブル赤LEDが点灯します。そのとき、速やかにLiPoバッテリーをUSBケーブルから外します。USBケーブルもPCなどから外します。
2. バッテリーは機体の端子と繋ぐまま、USBケーブルとPCなどのUSB端子を繋いでから、USBケーブルの端子を機体のポートに挿入します（図3）。

注意：バッテリーの充電時間：約100分ぐらい

USBケーブルの輸入電圧：5V、0.5-1A

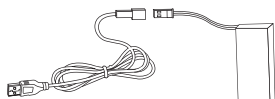


図2

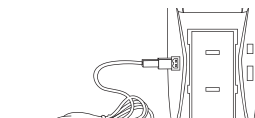
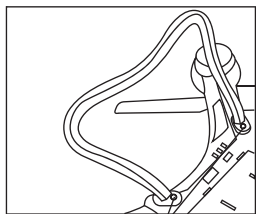


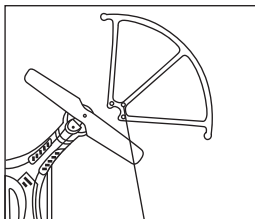
図3

プロペラガードとスタンドの取り付け方法



ネジの取り付け位置

図4



ネジの取り付け位置

図5

1. スタンドを相応位置に取り付けて、ネジを締めます。（図4）
2. プロペラガードを相応位置に取り付けて、ネジを締めます。（図5）

フライトを始める

フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業はバインドと呼ばれます。以下の手順に従って、正しくバインドを行ってください。

1. モード1（日本製のモード2）の場合

- ①送信機の電池カバーを開け、正しく単三乾電池を取り付けて、電源SWを押して電源を入れます。
- ②LiPoバッテリーを機体の電池挿入スロットに差し込み、コネクターをつなぎます。機体のスイッチを「オン」に押し、機体のLEDが点滅し、送信機とのバインド待ち状態になります。

③機体を平らなところに置いてください。

④送信機の左ラダースティックを一度一番上側まで倒し、又一番下側に戻します。そこで機体とのバインドが完了し「ピッ」というバインド完了音がします。その際機体のLEDは点滅から点灯に変わり、飛行準備が整います。

⑤ワンキー起動ボタンを押すと、機体のプロペラは低速で回ります。

⑥左ラダースティックを上を押すと、機体が上昇します。

2. モード2 (日本製のモード1) の場合

①送信機の電池カバーを開け、正しく単三乾電池を取り付けて、送信機左肩にあるファンクションボタンを押しまま、そして同時に送信機の電源スイッチを入れてください。

②LiPoバッテリーを機体の電池挿入スロットに差し込み、コネクターをつなぎます。機体のスイッチを「オン」に押し、機体のLEDが点滅し、送信機とのバインド待ち状態になります。

③機体を平らなところに置いてください。

④送信機の右ラダースティックを一度一番上側まで倒し、又一番下側に戻します。そこで機体とのバインドが完了し「ピッ」というバインド完了音がします。その際機体のLEDは点滅から点灯に変わり、飛行準備が整います。

⑤ワンキー起動ボタンを押すと、機体のプロペラは低速で回ります。

⑥右ラダースティックを上を押すと、機体が上昇します。

注意点：

★バインドを行う前に、機体のバッテリーを満充電してください。

★本体に破損が無いか、プロペラが4枚とも欠けや曲がりがないか、プロペラの向きが正しいかなどを確認します。

★バインド中は機体を動かさない様ご注意ください。

★できるだけバインド間隔時間を短めるようにしてください。(20秒以内で操作完了してください。)

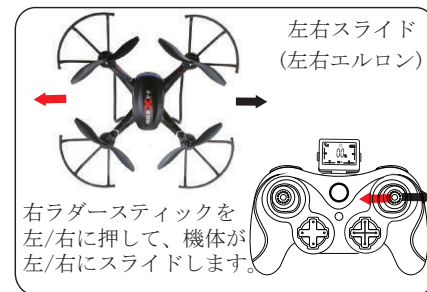
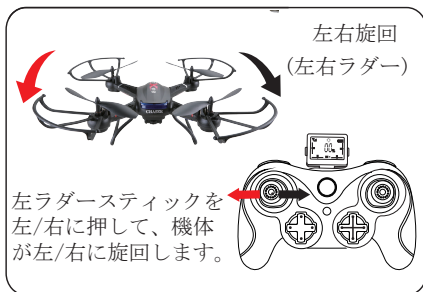
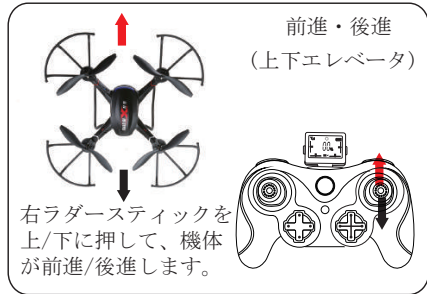
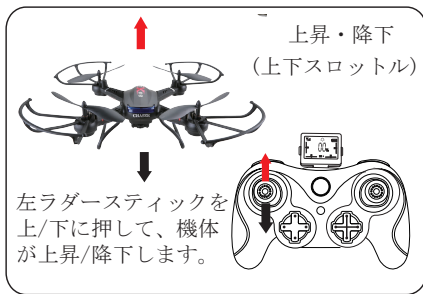
★フライト中にアーム部のLEDが点滅すると、LiPoバッテリー残量が少ないことをお知らせします。

速やかにフライトを中止して充電するようにしてください。

★フライトを終えたら必ずLiPoバッテリーと機体のコネクターを抜きます。

送信機の操作方法

モード1 (日本製のモード2) の場合



エレベータトリム

機体は前か後ろに流れてしまう場合は、流れてしまう方向と反対にエレベータトリムを押して調整します。

エルロントリム

機体は右か左に流れてしまう場合は、流れてしまう方向と反対にエルロントリムを押して調整します。

モード2 (日本製のモード1) の場合

上昇・降下
(上下スロットル)

右ラダースティックを上/下に押して、機体の上昇/降下します。

前進・後進
(上下エレベータ)

左ラダースティックを上/下に押して、機体が前進/後進します。

左右旋回
(左右ラダー)

左ラダースティックを左/右に押して、機体が左/右に旋回します。

左右スライド
(左右エルロン)

右ラダースティックを左/右に押して、機体が左/右にスライドします。

エレベータトリム

機体は前か後ろに流れてしまう場合は、流れてしまう方向と反対にエレベータトリムを押して調整します。

エルロントリム

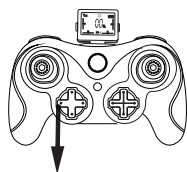
機体は右か左に流れてしまう場合は、流れてしまう方向と反対にエルロントリムを押して調整します。

※操作モードの変更方法

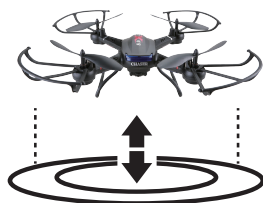
出荷時設定はモード1 (日本製のモード2) ですが、送信機左肩にあるファンクションボタンを押しながら、そして同時に送信機の電源スイッチを押すと、モード2 (日本製のモード1) に移行します。

ワンキー起動/着陸と高度維持

機体と送信機がバインド成功されたあと、ワンキー起動ボタンを押すと、機体のプロペラは低速で回ります。そして、スロットルスティックを上を押すと、機体は上昇します。スロットルスティックを放して、機体はその高さを保ち、ホバリングできます。またワンキー着陸ボタンを押し、或いはスロットルスティックを下を押すと、機体は地面に降下します。約二秒後、飛行は停止します。

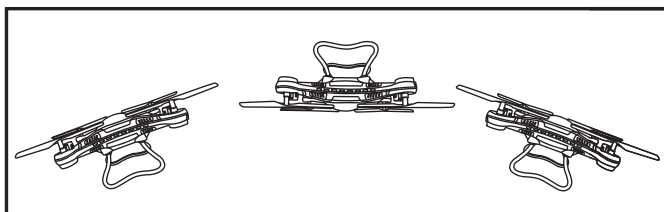


ワンキー起動/着陸



3Dフリップ

フライト中、3Dフリップボタンを押して、送信機が「ビッ、ビッ、ビッ…」となり、エルロン（左右）またはエレベータ（前後）に舵を切った方向にその場でフリップ（宙返り）アクションをします。



ワンキーリターンモードとヘッドレスモードについて

ワンキーリターンモードとは？

ノーマルモードで、ワンキーリターンボタンを押すと、機体は操縦者の方向に戻ってくるリターンモードに移行します。

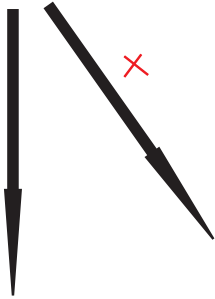
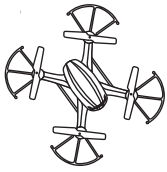
※最初、送信機と機体をバインドしたときの操縦者の向く方向が前方と指定されます。そして、操作中、操縦者はずっと最初にバインドした時のままの方向に向いている場合、リターンモードにすると、機体は操縦者のところへ飛びます。しかし、操作中、もし操縦者の向いている方向が、最初にバインドした時の方向と一致していない場合、リターンモードにすると、機体は操縦者のところではなく、最初バインドしたときの向いている方向の逆方向に飛びます。

ヘッドレスモードとは？

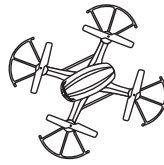
機体の向きに関係なく前後左右が固定され、通常の方法とは異なり、機体はどこをむいていてもエルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に動き、エレベータスティックを前後に動き、機体は前後に動くようになります。

リターンモードの中で、エルロン（左右）またはエレベータ（前後）に舵を切ると、リターンモードが停止し、ヘッドレスモードに移行します。ヘッドレスモード中に再度、ヘッドレスモードボタンを押して、機体はノーマルモードに戻ります。

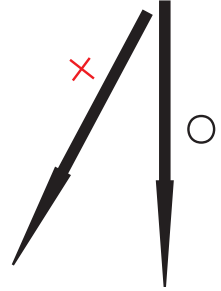
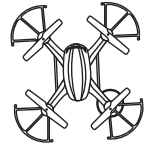
※ヘッドレスモードが正しく機能していない状態では、機体が意図せぬ方向に行ってしまう場合がありますのでご注意ください。



ワンキーリターンの方向



ワンキーリターンの方向



ワンキーリターンの方向



緊急停止

機体がフライトし始めたあと、緊急停止したい場合、地面との距離が1メートル以内の場合、左ラダースティックを左下に押し、同時に右ラダースティックを右下に押し、機体は緊急停止することができます。

※機体と地面の距離は1M以上で、緊急停止機能を使う場合、機体は墜落または強い衝撃して、機体が破損する可能性があります。ぜひご注意ください。



ジャイロリセット方法

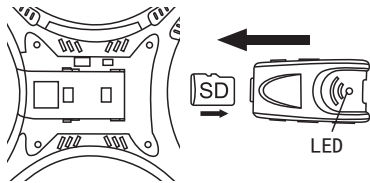
送信機と機体のバインド後、送信機の「宙返り」を一回押し、左右ラダースティックを同時に左下にいっぱい押し、機体のLEDが点灯から点滅まで放さないで下さい。点灯に戻ったときがリセット完了です。



撮影について

1. MicroSDカードを準備する

動画と写真を撮るには、送信機と機体の電源が切れた状態で、付属のMicroSDカードを正しく挿入します。



SDカードが正常に取り付けられているかどうかは、機体のカメラの内部赤LEDが消灯していることで確認できます。

2. 写真を撮る

送信機・機体を「フライトを始める」項目の通り、電源を入れ操作可能な状態にします。送信機の写真ボタンを押すと、機体のカメラの内部の赤LEDが一回光って、写真完了です。

3. 録画について

録画を開始する

送信機・機体を「フライトを始める」項目の通り、電源を入れ操作可能な状態にします。送信機の録画ボタンを押すと、機体のカメラの内部の赤LEDが点灯し、録画が開始されます。

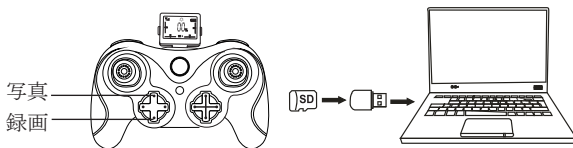
録画を停止する

録画を終了するには録画ボタンをもう一度押し、録画を停止させます。赤LEDが消え、録画が終了します。

注意：動画を撮るとき、SDカードの空き容量が無い場合、赤LEDが消灯し、青LEDが点灯しています。

撮影が終わったとき、撮った動画と写真をお読み取りたい場合、SDカードを軽く押して取り出せません。そして、リーダーにSDカードを取り付けて、PCのUSBポートに挿入すると、パソコンで撮った動画と写真を楽しむことができます。

※MicroSDカードを引き抜く際は、赤LEDが消えたことを確認してから抜いてください。点灯している状態で抜くと正しく録画できません。また、録画中に引き抜くとデータが保存できなくなり、データが消えてしまいます。ご注意ください。



動画を放送する場合、AVI形式の動画ファイルが再生できるプレイヤーが必要です。

プロペラ、モーターを交換する

プロペラやモーターの取り付け位置には決まりがあります。取り付け位置を誤ると、正しくフライトが行えませんので、下記説明に従って装着してください。

プロペラの交換方法

プロペラを装着する際は、下図を参照にプロペラに刻印されたアルファベットを確認し、正しい位置に装着します。

1. 付属のドライバーを使い、プロペラを取り外します。
2. プロペラに「A」または「B」と刻印されています。プロペラを装着する際は、アルファベットに注意して、プロペラを正しく取り付けてください。

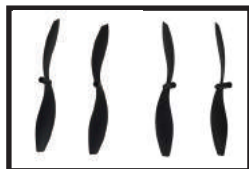
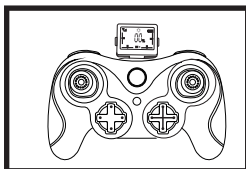
モーターの交換方法

モーターを交換するには、下記の配線図の通りに行ってください。モーターセットには2種類のモーターが入っており、区別するには配線の色で確認します。【青・赤】配線のモーターと【黒・白】配線のモーターがあり、正しい位置に取り付ける必要があります。そして、モーターを交換するとき、もし何かご不明点がございましたら、メールにて弊社とご連絡下されば、適切な対応をさせていただきます。

モーターA【青・赤】…正回転
モーターB【黒・白】…逆回転



パーツリスト



よくある質問

Q1. 機体にLiPoバッテリーをつないでも反応しない。

A1. LiPoバッテリーを正しく機体の電池挿入スロットに差し込み、コネクタを繋ぎ、機体のスイッチを「オン」に押したかどうかご確認ください。

A2. LiPoバッテリーは正しく充電されていますか。満充電した予備のバッテリーを交換して、お試しください。

Q2. 修理・調整を行ってもらえますか。

A1. 恐れ入りますが、メールにて弊社とご連絡下されば、修理方法を提供いたします。

Q3. 機体が墜落・衝撃などによって反応しなくなった。

A1. 一旦機体からバッテリーを外します。その後、再度バッテリーを繋ぎ直してみてください。

A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると、プロペラまたはモーターなど破損する場合がございます。もし、プロペラが破損していた場合、「プロペラ、モーターの交換方法」をご参照になって、予備のプロペラと交換してください。もし、モーターが壊れた場合、それをご参照頂き、モーターを交換してください。そのとき、もし何かご不明点がございましたら、メールにて弊社とご連絡下されば、適切な対応をさせていただきます。

Q4. 今まで問題なくフライトできていたが、突然不安定になった。

A1. LiPoバッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換してみてください。それでも改善できない場合は「A2.」をご参照ください。

A2. プロペラに変形や破損がないか確認します。問題なければ一旦着陸させ、「ジャイロリセット方法」を行ってみてください。

Q5. プロペラの換えたら離陸できなくなかった。

A1. プロペラの向きを正しく取り付けないとフライトできません。再度プロペラのアルファベットが正しい位置に取り付けられているか「プロペラ、モーターの交換方法」をご参照ください。

Q6. 一つだけモーターが回らなくなりました。

A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。「プロペラ、モーターの交換方法」をご参照頂き、モーターを交換してください。

Q7. ほかの送信機で飛ばすことができますか。

A1. 当製品の送信機は専用品ですので、ほかの送信機をご使用頂くことはできません。

Q8. フライト中、振動してしまう。

A1. ボディ・プロペラに破損や変形があると振動に繋がります。破損・変形がある場合は対象部位を交換してください。

Q9. 本製品は国内電波認証の商品ですか？

A1. はい、そうです。どうぞ安心してご使用ください。

Q10. バッテリーが二つ付属と記載してありましたが、一つしかありませんでした。

A1. バッテリーは本体に一個装着済みでもう一つは付属品と一緒にあります。もう一度ご確認ください。

A2. もし本当に一つしかない場合、メールにて弊社とご連絡下されば、適切な対応をさせていただきます。

Q11. ビニオンギアが欠けて仕舞いました。

A1. メールにて弊社とご連絡下されば、適切な対応をさせていただきます。

製品サポートについて

1) 保証・修理規定

初期不良品につきましてはお手数ではございますが、メールにて弊社とご相談ください。ご質問について、弊店は必ず適切な対応をさせていただきます。どうぞご安心ください。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼はメールにてご連絡下されば、適切な修理方法を提供いたします。また、状況により、部品を有償（割引券を提供し）・無償にて提供いたします。

2) お問い合わせ先

メールアドレス：jp@holystone.com

TEL：001-6264657134（アメリカの電話番号）

電話受付：月曜日～日曜日（旧正月の休みを除く）

受付時間：午前：9：30-12：30 午後：2：30-6：30

※時間帯により電話は混雑している可能性があるため、メールのご利用をお薦めします。

メーカー情報

1. メーカー

Holy Stoneの各製品ならびにロゴは、Zhangzhou Beiqu Trading CO.,LTD. 株式会社の商標です。

Holy StoneならびにHoly Stoneのロゴは、Zhangzhou Beiqu Trading CO.,LTD. 株式会社には帰属します。

App Storeは、Apple Inc. のサービスメーカーです。

Google Playは、Goole Inc. の商標です。

本書に記載されたその他のメーカーは、それぞれの所有主に帰属します。

2. 製造元情報

Holy Stone F181C 製造元：Xiamen Huoshiquan Import&Export CO.,LTD Room 703, No. 813-2 Xiahe Road, Siming District, XIAMEN, (China)

www.holystone.com